



SPORTING REGULATIONS
レギュレーション

2025 VERSION 4.1
2025 年大会より適用

大会概要

大会名称：K Sports 8taiQ IN SODEGAURA

主 催：K Sports Car Clubmanship (略称 KSCC)

K Sports 事務局：〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸 519-1 103

Email：ksportscarclubmanship@gmail.com (担当：伊藤 博) メール QR ▷



開催場所：袖ヶ浦フォレストレースウェイ

大会内容：8 時間耐久

開 催 日：2025 年 6 月 8 日 (日) ※前日の土曜日は、占有特別走行有り (有料)

入場料・駐車料：無料

イベント趣旨

「より安全に・より楽しく・より付加価値のあるイベントに」をモットーに

参加者・オフィシャル・主催者が、共通理解の下にイベントを作り上げ、

しっかり準備とルール・マナーの順守による、楽しく有意義な 8 時間耐久の完走を目的とします。

参加資格

- イベントの趣旨・ルールを理解されている方 (応援含むチームに携わる全ての方)。
- ルール・マナー等を守り他の参加者と共に楽しくイベントに参加出来る方。
- イベント期間中、日本国内で有効な普通自動車以上の運転免許証所得者及び主催者が、認めた者。
- K Sports の定めたレギュレーション・注意事項をチーム内で周知徹底出来る方。

参加申し込み

エントリー期間：2 月 15 日 (土) ~ 4 月 30 日 (水)

参 加 費 用：¥130,000 (税込) ※参加費用に燃料代金は、含まれません。(当日、精算)

ボーナスエントリーとして以下の条件で、参加費用を ¥5,000 割引く。

連続 3 回の以上の参加、もしくは 3 月 31 日までに申し込みをされたエントラント。

ドライバー人数：2 名以上、最大 10 名までとする。 ※但し健康上の観点より 3 名以上を強く推奨。

参加申し込み：K Sports HP の参加申し込みフォームより。

誓 約 書：大会誓約書を HP よりダウンロードし必要事項を記入捺印 (サイン可) して下さい。

チームリーダーは、誓約書表紙 (メンバー表) をダウンロードして必要事項を記入して

第 1 ドライバーから順に最終ドライバーまでまとめて大会当日の参加受付時に提出の事。

※参加ドライバーに変更が有った場合は、変更された誓約書・メンバー表を

必ず再提出して下さい。

エントリーは、既定の手続き及び入金完了した時点で成立とする。

参加申し込み条項

この大会に関連して起きた死亡・負傷その他の事故、参加者及びスタッフ（同伴者）の受けた損害について主催者ならびにサーキットの従業員・係員・雇用者に対して非難したり損害賠償を請求したりする事は出来ません。

尚、事故が主催者及びサーキットの従業員に起因した場合でも変わり有りません。

また、施設及び機材、第三者へ損害を与えた場合には、その損害について弁償する事を約束して頂きます。

大会事務局

事務局 / 参加受付場所：クラブハウス 1 階・K Sports 事務局

駐車場

- 競技車両：指定ピット ● 一般・トラック・積載車：駐車場及び A パドック
- サービスカー：ピット裏及び駐車場

※指定ピット裏への駐車は常時 2 台までとする。(受付時駐車券配布)

車検

場所：クラブハウス 1 階・K Sports 事務局前 A パドック音量測定エリアにて

土曜日：13：00～18：00（赤旗トレーニング中）

日曜日：6：30～7：30

リーダーブリーフィング

日曜日 7：30～7：45 K Sports 事務局横のブリーフィングルームにて

チームリーダーとスタートドライバーは参加必須。

(点呼あり。参加しない場合はペナルティとなります。)

章典について

総合での章典は設けない。各クラス毎での章典、表彰となります。

成立は、1 台以上。 クラス総数の 1/3 の台数

ある一定の時間帯における順位での賞ほか、各種特別賞等をフレキシブルに設定の予定。

また、K4-GP とのフレンドシップにより、

本大会完走車は、K Sports より完走証明書を授与され、

K4-GP 10 時間耐久参加の際の条件（5 時間耐久または 2025 年冬の 7 時間耐久の参加）が、

免除されます。

KSports 車両規則

対象車両

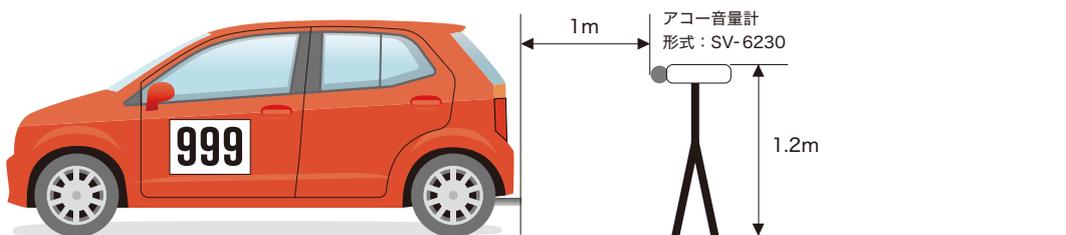
軽自動車及びその内燃機を搭載した車両を基本形とする。車両の改造は、レギュレーションを遵守頂ければ参加者の自由意思を尊重します。ただし、安全性が担保出来ない車両は、車検時に参加をお断りする場合がありますので、ご心配な場合は、事前に事務局にご相談下さい。

クラス区分 ※クラス区分が不明な場合や現状該当しない場合も事務局 伊藤までお問合せください。

- **スタンダードカークラス** (市販の軽自動車をベースとした車両)
 - SC-1 (スタンダードカー：1) **850cc 以下の車両**
 - SC-2 (スタンダードカー：2) **851cc (ターボ係数 1.5 倍) 以上の車両**
 - SC-3 (スタンダードカー：3) **トルコン AT、CVT などの車両 (スズキのAGSは該当しません)**
- **カスタムカークラス** (レーシングカーおよび自作車両)
 - CC-1 (カスタムカー：1) **850cc 以下の車両**
 - CC-2 (カスタムカー：2) **851cc (ターボ係数 1.5 倍) 以上の車両**
 - CC-3 (カスタムカー：3) **軽自動車ベース以外の内燃機車両**
- **ワンメイクカークラス** (軽自動車によるワンメイクイベントの N ゼロ 車両)
 - OM (ワンメイク) 当該レースのレギュレーションからの変更不可

排気音量

開催サーキットのルールにより、**排気音量 全クラス 95dB 以下**
音量測定は、大会前日の特別有料スポーツ走行前に行う事も可能。
測定は、マフラー出口より後方に 1m 地面より 1.2m の高さにセットし、
搭載エンジンの最高回転数から 1,500 rpm 落とした状態 (空ぶかし) で測定。
例) 最高回転数が 7,500 rpm の車両は 6,000 rpm



※走行中に排気音量が 96dB を超えた時にはオレンジポール旗にて強制ピットインとなる。
処置を施し音量チェックに合格した場合のみ再出走が認められる。

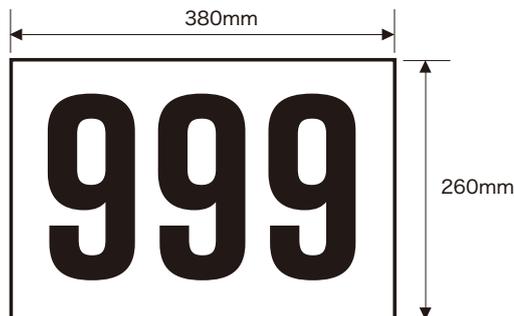
ロールケージ

2025 年大会より義務化する。

すべての SC 車両は、6 点式以上のロールケージを装着すること。

R 車両 (CC クラス) で既存レーシングカーベース以外の車両は事前に事務局に確認のこと。

- 灯 火 類**：ヘッドライト、ウィンカー・ハザード、テールランプ・ストップランプ（CC Class はリアフォグも）を装備する。
- けん引フック**：前後のポイントを「赤色または黄色」で示す事。（赤ボディ、黄ボディの場合は白枠を付ける）レーシングカーは、ロールケージの代用を許可し「赤色または黄色」で、マーキングをする。
- シートベルト**：4点式以上の物とする。
- バッテリー**：ドライバーと同一室内に設置する場合は、隔壁または不燃製品で覆う事。ドライバッテリーは、隔壁無しでも可。
- 消 火 器**：2kg 以上の容量の物を搭載する事。
- タ イ ヤ**：メーカー・サイズ・使用本数は、自由。但し S タイヤまでのコンパウンドとする。スリックタイヤは、不可。
- ステッカー**：他の大会のステッカーは、露出しない様にする（貼り付け禁止）。
- ゼ ッ ケ ン**：エントリー時に希望ゼッケンを第 3 希望まで申請してください。重複した際は、エントリー順とする。ゼッケン書体は、縦 260mm× 横 380mm の白色ベースに黒色幅 33mm のゴシック体 1 文字（縦 230mm× 横 90mm）の数字を前・左・右に貼りける。他イベントで使用のゼッケンの流用も認められる。但し、大会名等は露出しない事。



- 視認性確保**：CC-Class は、ウィンカー・ハザード装備を義務付ける。走行時は、前照灯を点灯しリア・フォグも点灯もしくは点滅させる事。
- 発 信 機**（トランスポンダ）
取付けは競技中外れないよう確実に固定すること。
チェッカー後、30 分以内に事務局へ返却すること。
リタイヤした場合には車輜が戻り次第、事務局に返却すること。
発信機を破損及び紛失した場合は、各自の負担でサーキットへ弁償となる。
- スペアカー**：スペアカーの使用は可。事前に事務局に申請。費用は、¥5,000 とする。ただし参加車両規則の条件を満たしていること。スタートしてからのスペアカーの使用は、章典外とする。レース中、何らかの理由によりスペアカーを使用する場合は必ず大会事務局へ連絡し、以下の作業を行うこと。
 - 発信機（トランスポンダ）の移設を行う。
 - 同一ゼッケン No. を車輜に書く（貼る）。
 - 作業終了後、車検員立会いのもと車輜の確認を行った上で出走を認める。

装備品等

ライセンス

現状イベントライセンスは設定しない。

但しイベント期間中、日本国内で有効な普通自動車以上の運転免許証所得者（免許停止中は参加不可）および主催者が認めた者。

※チームリーダーは、経験の浅い参加者には、レギュレーションおよび旗などのサーキットルールの周知徹底をお願いします。

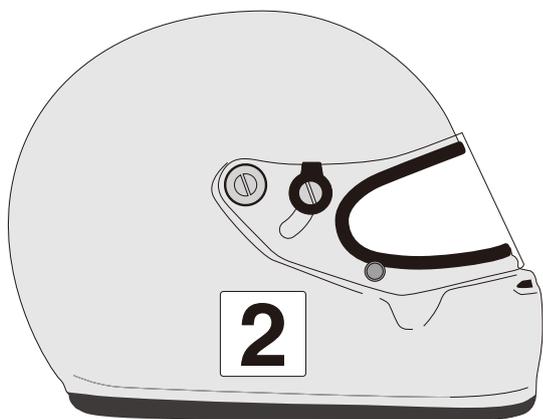
ウェア類

アクシデント発生時に自分自身の身体を守る装備である為、JAFの安全規定に沿った装備がのぞましく、極力その規定に近づいた装備で参加する努力をして下さい。

- いかなる場合も肌を露出させてはならない。
- 耐火性レーシングスーツ、レーシングギアを強く推奨する。
用意できない場合は綿 100% のツナギとする。ツナギ形状以外の装備は認めない。
- グローブは必ずレーシンググローブとして市販されているものを使用する事。
(FIA 公認や SFI 公認等の有無は問わない)
- フェイスマスクおよび難燃性下着を強く推奨する。用意できない場合は綿製を着用する事。

ヘルメット

- 2 輪用ヘルメットでも可とするが、半キャップは認めない。4 輪ヘルメットを強く推奨。
CC-Class などフロントガラスの無い車両、ケータハム等のオープンシーターの車両は 4 輪用フルフェイス限定とする。※ハンスデバイスを推奨する。
- ヘルメットには、受付時に事務局より配布された 5cm×5cm の番号シールをエントリー時の登録番号と同一の数字をヘルメット右側面下側に貼り付けて下さい。
※出走順と異なっても構いません。ドライバーをピットエンドで確認する為、必ず右側に貼る事。



大会ルール

車検

イベント当日の車検に合格する事。前日の土曜日にも車検対応致します。

前日（土曜日）の特別有料スポーツ走行で希望車輛には走行時の音量もチェック可能。

予選 / ダミーグリッド

予選は、行わない。グリッドは、大会前日までに HP および当日事務局にて掲示。

基本、エントリー受付順。ローリング開始までコース上のイン側に斜め 45 度に停車。車間は当日指示します。

スタート進行

3 分前 スタッフは、コースより退去。(1 分前ボード掲示以前のエンジン始動不可)

1 分前 エンジン始動。(ダミーグリッドも 1 分前ボードを 2 ヶ所掲示。ドライバーは要ボード確認)

メインポスト：緑旗 ペースカー先導によりローリング開始。(周回数に含まれる)

※ローリング中のウェービングは禁止

スタート後 3 周は、全周にわたり黄旗により追い越し禁止。(天候や隊列等の状況により周回数は変動)

各ポスト：「黄旗」ペースカーが、ピットロードへ進入し隊列の先頭が、スタート&フィニッシュラインを通過し全車追い越し可能に。メインポストで「緑旗」

ローリングラップ中に隊列を整えることのできない車輛へは各ポストより指示。

メインポストからはゼッケンを掲示しますので指示に従い直ちにピットイン。

全車スタート後、オフィシャルの指示に従い再スタート。

車輛トラブルの場合は、後方車輛に注意してできる限りコース右側に寄って走行すること。

また、スロー走行時にはハザードランプを点灯した上で速やかにピットイン、もしくは安全な位置に停止。

スロー走行車輛の追い抜きは、ハザードランプを点灯や挙手などで示された場合のみ可能。

それ以外は追い越し禁止。(但しポストからの指示のあった場合はポストの指示に従う)

これらは、セーフティーカーラップ中も同様である。

ゴール (チェッカー) について

ゴール後について チェッカー後は、安全を確保しつつ減速し

約半周で #9・#10 ポストの中間よりセーフティーカー (以下 SC) が先導しピットロード出口へ。

ピットロードを逆走して (ピットロードにおいてはサインガード側・ピット側で出迎えましょう)

ピットロード入り口を右に U ターンしてメインストレートに 3 列縦隊で保管。

完走認定は、義務給油回数 5 回をクリアし、チェッカー優先となります。

なお、危険回避の為、コース上の待機は認められません。

待機する場合は必ずピットにて待機して下さい。

ゴール後 SC 先導でピットロード入口誘導し参加車両は (通常のフィニッシュも同様)

SC に続いてピットロードを逆走します。チーム員・仲間は、拍手で迎えて下さい。

その後、ピットロード入口よりコースに戻り整列。写真撮影へと移ります。

ドライバー識別

コース上での事由の際の確認時に該当ドライバーを特定する為、ヘルメットに識別シールを貼り付けます。
ピットアウト時にピットロード・エンドでヘルメット右側に貼られた識別シールにて確認いたします。
必ず一時停止。一時停止しない場合はペナルティの対象となります。

ドライバー交代表 ※ドライバー交代表は HP よりダウンロードしてください。

チームは、ドライバー交代表※の記載欄に従いドライバーの番号・名前、交代時間を記入し
イベント終了後 10 分以内に事務局へ提出する。(提出なき場合は失格となります)
ドライバーの連続運転時間は、90 分までとする。休憩時間は、60 分間。
※識別の為ですので、出走順と交代表の記載順は異なっても構いません。

ピット前作業

ピット前作業は、軽作業（ミラー調整・クリップナット増し締め内圧調整等々）およびドライバー交代のみ。
それ以外の作業は、ピットエリア内で行う事。

ドライバーサポート：2人 メカニック（実際に車輻に触れる）：3人 計5人までとする。（15歳以下はNG）

車輻を停止させる際にチーム員は、車輻の進行方向上に立たない。

安全確保の為ストップボード等の使用を義務付ける。

作業が終了したら履き掃除をする。（ほうき・ちりとりを自チームにおいて用意しゴミは各自持ち帰り）

車検時にストップボード・清掃用具（ちりとり・ほうき等）を確認する。

サインガード

入場は、3名までとする。日除けテント等は突風対策の観点からしっかり固定して設置する事。

ピット裏のテント

5m幅の通路を確保の事。その際、しっかりとウエイト等で飛び防止をする事。

ピットロード、給油ルート の速度制限（速度計測は主催者の計測による）

- ピットロードの速度制限は 30 km/h とする。給油ルートの速度制限は 20 km/h とする。
- 違反した場合は自己ピットに戻りオフィシャルの指示を仰ぐ。
- 違反車両は場内放送およびモニター内にて表示。

セーフティカー（SC）

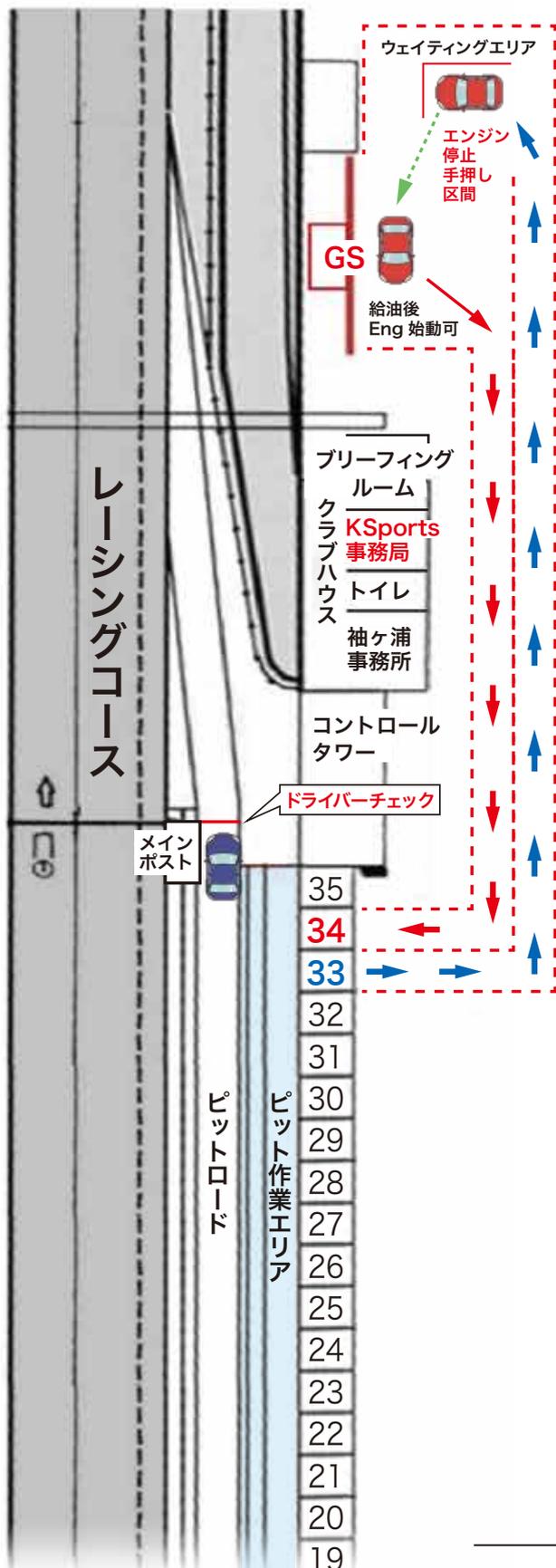
- セーフティカーは、先頭車両の位置に関係なく導入される。
- セーフティカーが入った場合、各車 1 列の隊列を作り、1 車身以内で走行する事。

※ポイント

S/C においては、隊列が長くなるとオフィシャルの作業進行に影響が生じます。

隊列が 200mm と 500mm では、1 周まわって来る間の安全確保に差が生じます。

- セーフティカーラン中のウェービングは禁止する。
- 隊列について行けない車両は、明確にコースの右側に避けて走り、後続車両に合図を送る事。
何も合図が無い低速車両には、メインポストからオレンジボールを提示する。（スタート時のローリング中も同様）
- S/C 解除は、9 番ポストよりパトランプを消灯しピットロードの入る。
- 競技車両は、スタート / フィニッシュラインより追い越し可能。



燃料給油

- 燃料給油はサーキット内のガソリンスタンドで行う。
- 使用量は全クラス上限無し、但し **3回**以上の給油義務
- 33番ピットより給油ルートへ進入
(速度制限 **20km/h**)。
- スタート時の積載量は、自由。
1ℓ～20ℓで小数点以下のオーダーは無しとする。
但し、フルタンクにする場合は、20ℓ以下のみ認める。
- 給油をする前にウェイティングエリアで
2分待機する(作業禁止)。
- 待機時間の計測はウェイティングエリアで開始とする。
- 待機時間の測定、給油補助はチームスタッフが行う。
- ウェイティングエリアから給油エリアの区間はエンジン始動不可。
手押しで給油エリアへ。**給油後はエンジン始動走行可。
- 給油口の開閉は、チームスタッフが行い、
給油量を確認し伝票にサインをする。
- 給油時間帯は、8時30分～16時まで。
(16時で進路クローズ)
- 燃料の精算はサーキット事務局にて各チーム毎にて。
最後の給油が終了した時点から精算が可能。
現金にて(カード等使用不可)(最終支払〆切19時)
袖ヶ浦事務局へお支払いください。
※大会事務局での対応致しません。

ピットロード・給油ルート of 速度超過注意

ピットロードは **30 km** 給油ルートは **20 km**

ピット作業エリア走行禁止!

旗について

使用ポスト

使用ポスト：MP(メインポスト)・2・5・6・8・11・14・15 以上8ポストとする(資料1参照)

メインポストの **旗** に注意！

信号旗(資料2参照)

コース上のコントロールは、すべて各ポストから振られる旗によってコントロールされる。

本記載のレギュレーションと共に、信号旗の意味をチーム全員で周知徹底し、臨む事。

赤旗

- 赤旗を確認したら安全を確保し、減速して赤旗ラインに1列渋滞で停止(エンジンストップ)
※赤旗ラインは、スタート/フィニッシュラインの1m手前ピットロードに於いても同様。
- 走行中赤旗が提示された場合、全ての計時が止まる。
- 走行車は提示後、追い越し禁止としコース上の計測ライン手前(メインフラッグタワー手前の線)に交互に2列で整列する。その際、追突に注意する事。
- 赤旗時、走行車両はピットには入らない事。
(ピットロード入口、給油所入り口は赤旗提示と同時に閉鎖となる)
- ピットインと給油を予定していた車両は、ピットロードの計時光電管手前を先頭に1列で並ぶ事。
- すでにピットまたはピットロードに入っていた車両の作業の継続は可能。
作業終了後にピットロードエンド信号手前で待機。(再スタート時ピットエンド信号に従いコースイン)
- 再スタートは、セーフティカー先導によるローリングスタートとなる。
そのほかの信号旗については、資料2：各ポストからの信号旗をご参照ください。

ペナルティ

- メインポストを每周回チェックする事。
- ペナルティ対象車両へは、オレンジボール黒旗+ゼッケンナンバーが提示される。
提示から3周以内に自己ピットに停止後、オフィシャルの指示に従いペナルティを消化する。
- オレンジボール黒旗の提示から3周経過して自己ピットへの進入が無い場合はタイムペナルティや周回数の減算。場合により失格もありえる。

※ペナルティ例

フライング、黄旗の無視、ホワイトラインカット(イン/アウト共に)、ピット作業エリア走行、ピットロード・給油ルートでの速度超過危険走行、非常識行為等

※ルールを守れないチームは、次回エントリーを受理しない場合もあります。

その他の注意事項（ペナルティ対象）

ホワイトラインカットに注意！

コースイン時は2番ポスト手前までインベタ。

ピットイン時は最終ヘアピンからインベタでピットイン。

- オープンカー車両は、フロントシールドのある車両でもヘルメットのシールドを閉じること。※ケータハム等
- ハコ車両の窓の開閉は運転席で約10cm、助手席で半分までとする。ネット装着車両は開閉自由。
- イベント中はコース上でのスピンや危険回避のリカバリー以外は、給油コース・ピットロード等も含み、バックギヤの使用は禁止。但し、危険回避の為等、やむを得ない場合のみ使用を許可する。
- スタートから8時間の総合トップ車両がコントロールラインを通過した時点からチェッカーが振られる。
- 天候により、競技時間が変更になる場合がある。
- 燃料調整や完走チェッカー等、イベント中いかなる場合もコース上の待機やストレート上での停止は重大な事故が起こる可能性があるため厳禁とし、厳重なペナルティを科す。
- コース上でやむを得ずスロー走行となる場合、後方車両に注意してできる限りコース右側に寄って走行をすること。また、スロー走行時にはハザードランプを点灯する。
- 給油コースの入口・出口の間違いに注意。イベントスタート前に事前チェックしてください。

一般規定

ピットおよびピットロード、サインガードの利用

- ピットロードは競技車輛優先。(ピットロードはコースの一部) コース、ピット、ピットロードは火気厳禁。
- 小学生および幼児のピットロードおよびサインガードへの立ち入りは禁止。
- ペットの同伴は不可。
- イベント中、運動性の悪い履物でのピットロードへの立ち入りは禁止。
※例) かかとの固定出来ないサンダル(クロックス系含およびハイヒール等)
- イベント中の傘の使用禁止。
※これらが守られない場合は、タイムペナルティを科す場合がありますので周知徹底下さい。

チームリーダー

- チームリーダーとチームリーダー代理を必ず置く事。(ドライバー兼務可)
- チームリーダーもしくはチームリーダー代理は、発表されたレギュレーション・信号旗を理解し
チーム員に周知徹底をお願いします。

ゴミ処理

- ゴミは、原則各自持ち帰る事。 ○サーキット備え付けのゴミ箱は使用禁止。

タイミングモニター

- アナログTVモニターのみタイミングモニターの視聴がピット内にて可能となります。
- 同軸ケーブル(約2m) 100V 延長ケーブルを各自ご用意下さい。(事務局での用意は一切ありません)

施設および物品の破損

- コースも含め施設や発信機などを破損した場合は、イベント当日の内に処理し、各自の負担で弁償とする。
- 発信機は、高価ですのでのフォルダー固定方法を厳重に確認(車外の場合は特に)
- オイル等処理費用: 10mにつき 1,100円(税込)※10m以下であっても、費用を頂戴する場合があります。
- 消火器代: 1本につき 6,600円(税込)

その他

- 資料3を参考に提出物の提出を厳守する。守られない場合は参加拒否や順位が設定されない場合もあります。
 - 無線機の使用については エントリー用紙にて申請して下さい。当日の受付は致しません。
 - 媒体の取材等を受ける際は、事務局に事前申請をすること。
 - 動画配信について 車載カメラ等による動画配信・録画は許可する。ただし個人の趣味の範囲でおこなうこと。
 - 有名な動画タレントなど、収益を得る番組の動画撮影は事務局にご相談下さい。
 - 動画をもとにした抗議は一切受け付けません。
 - アクシデントが起きたりした際は事務局から動画の提出をお願いすることがあります。
その際にご協力をお願い致します。
- 以上の規定は、イベント毎に変更になる場合がありますので HP 内公示をよくご確認下さい。

資料：1 コースガイド&インフォメーション

SODEGAURA FOREST RACEWAY

使用ポスト (赤)

MP・2・5・6・8・11・14・15 以上8ポスト

メインポスト

赤旗ラインは、スタート/フィニッシュラインの1m手前

コースインする際は、2番ポスト手前までインペタで走行
急なライン変更はしない



ピットインする際は、9コーナーヘアピンからインペタで走行
急なライン変更はしない

S/C解除は、9番ポストよりバトライト消灯

本イベントの開催される袖ヶ浦フォレストレースウェイは、コース外側に幅30メートルの森林帯を残すと共に、敷地内に10,000本の植林をし環境保全に配慮したコース。国際自動車連盟 (FIA) の規格に従ったコースで、日本自動車連盟 (JAF) 公認レーシングコースです。

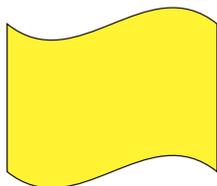
コース長	2,436m	コース最大幅	18m
コーナー数	14	コース最小幅	15m
最大R	220m	ピット数	35
最小R	25m	コースポスト数	15
最大斜度	4.2%	監視カメラ	20台
メインストレート	400m		



資料：2 各ポストからの信号旗

サーキット走行は、すべてフラッグ（信号旗）などの信号合図に従って行われます。

信号合図の無視、軽視あるいは認識不足はすべて重大事故につながりますので信号旗の意味をよく理解して下さい。

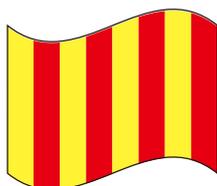


危険箇所あり
速度落とし
追い越し禁止

黄旗（イエローフラッグ）

1 本振動表示

速度を落とし、追い越し禁止。
進路変更する準備せよ。
コース上に危険箇所がある。

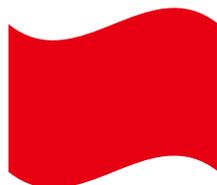


コースが
滑りやすい

オイル旗

不動表示

コース上に、オイル、水、砂利等で滑りやすい箇所がある。注意して走行せよ。



重大事故発生
競技中断

赤旗（レッドフラッグ）

振動表示（追い越し禁止、右側走行、最徐行）
重大な事故発生。全車走行中止。
コース内の全（使用）ポストで表示される。
詳細はレギュレーション 9P に掲載。



後続より
速い車両接近

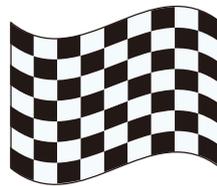
青旗（ブルーフラッグ）

不動表示

後方より、自車より速い車両が接近中、注意せよ。

振動表示

後方より、自車より速い車両が追い越そうとしている。
なるべく早い機会に後続車両を先行させなければならない。

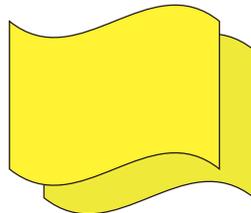


レース
終了合図

チェッカー旗

振動表示

レース（走行）終了。
W チェッカーはペナルティ。
チェッカー後は追越し禁止。

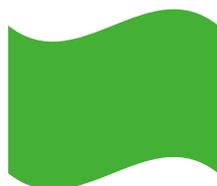


極めて危険箇所あり
大幅に速度落とし
追い越し禁止

黄旗（イエローフラッグ）

2 本振動表示

速度を大幅に落とし、追い越し禁止。
進路変更あるいは停止する準備せよ。
コース上に極めて危険箇所がある。

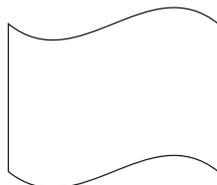


規制解除
走行可能

緑旗（グリーンフラッグ）

振動表示

事故現場の直後のポストで表示される。
先に合図した黄旗などの規制解除。

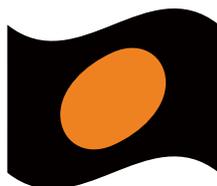


コース上に
低速車両あり

白旗

振動表示

低速走行車両、あるいは緊急車両走行中。
走行に充分注意せよ。
コース上に低速車両あり



故障、もしくは
ペナルティ

オレンジボール旗+ゼッケンナンバー

不動表示

車両に機械的欠陥、または、ペナルティ等の問題ありで、危険と思われる場合に表示される。
安全を確保しながら確認次第ビットインせよ。
詳細はレギュレーション 9P に掲載。

資料：4 車検チェックリスト（参考）



車検 チェックリスト

カー No.

2025_06_07-08

時間: _____

車検担当者: _____

チーム担当者: _____

排気音量	dB
ロールゲージ	
バケットシート	
シートベルト	
けん引フック	
消火器	
シートベルト	
オイル関係	
冷却水関係	
燃料関係	
電気配線関係	
ストップボード	

灯火類	
ヘッドライト	
スモール	
ブレーキ	
ウインカー	
リアフォグ	
ハザード	
外装関係	
ステッカー	
内装関係	
バッテリー	
ほうき・ちりとり	

排気音量測定回転数 _____ rpm

MEMO _____

トランスポンダのフォルダー固定確認 _____